

日本 ICID 協会
令和 7 年度 総会議案書

令和 7 年 7 月 31 日（木）

日本 ICID 協会

第 1 号 議 案

令和 6 年度事業報告及び収支決算（案）について

令和6年度事業報告

令和6年度、日本ICID協会は次の事業を実施した。

1. 理事会及び総会

1.1. 理事会及び総会の運営

令和6年度日本ICID協会理事会及び総会を令和6年6月17日に開催した。

2. 会議参加費助成

参加費の助成は行わなかった。

ただし、令和6年9月1日（日）から7日（土）、オーストラリア・シドニーにて開催された ICID 第 75 回国際執行理事及びアジア地域会議において、(一財)日本水土総合研究所が行う公益事業の一環として同会議に参加しプレゼンテーションを行った YPF 会員 4 名について現地サポート等の支援を行った。

3. 技術交流事業

3.1. 講演会

理事会、総会の開催に合わせ、前アジア開発銀行南アジア局長の横山謙一氏を講師にお招きし、「アジア諸国の経済発展の課題と農業農村部門の役割－南アジア諸国を中心に」と題して講演をいただいた。

3.2. 若手かんがい排水技術者フォーラム作業部会（WG-YPF）

①定例会

WG-YPF 定例会を令和6年9月11日に弘前大学文京町キャンパス内で開催し、若手技術者や研究者等との情報共有や意見交換を行い、今年度の予定等についても話し合いを行った。

②第19回若手かんがい排水技術者のための勉強会（現地見学会）

令和6年8月1日から2日、日本水土総合研究所と連携し、新潟市内において現地見学会を開催した。

③第20回若手かんがい排水技術者のための勉強会

令和7年3月7日、ICID 帰国報告会に合わせて勉強会を開催した。

3.3. 日本 ICID 協会会員の活動支援

令和7年3月7日、ICID 日本国内委員会と日本 ICID 協会の共催により ICID 帰国報告会を開催した。

4. YPF 活動経費支援

ICID本部において昨年度の拠出金の使用が2025年に繰り越されたため、ICID本部と調整の上本年度の拠出金は取りやめた。

5. 委託事業

5.1. 日本 ICID 協会の運営

(一財) 日本水土総合研究所に日本 ICID 協会の事務局業務を委託し、上記活動の運営を行った。

5.2. 日本 ICID 協会会報の発行

ICID の諸活動に関する情報を会員に提供するとともに、会員からの情報、意見などを紹介する交流の場として、日本 ICID 協会会報（第 42 号）を作成し、会員に配布した。

記事の内容（第42号）

- (1) 令和6年度の活動概要
- (2) 日本ICID協会理事会、総会、講演会
- (3) ICID国際会議の概要
- (4) WG-YPF主催の定例会及び勉強会等の概要
- (5) その他の活動

5.3. ホームページの更新

日本 ICID 協会会報（第 42 号）を日本 ICID 協会のウェブサイトに掲載するとともに、ICID シドニー会合の概要、理事会・総会、YPF 活動、帰国報告会の結果等について、順次アップロードを行った。

5.4. メールマガジンの配信

日本 ICID 協会の行事予定、事務連絡等を掲載した日本 ICID 協会メールマガジンを計 5 回配信した。

令和6年度収支決算(案)

1. 一般会計収支決算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1.1 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
1.会費収入	3,869,000	3,848,000	▲ 21,000	法人会員: 20社 個人会員:187名
2.雑収入	1,000	2,011	1,011	
収入合計①	3,870,000	3,850,011	▲ 19,989	

1.2 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
1.理事会及び総会費	250,000	306,538	56,538	理事会及び総会の開催
2.会議参加費助成	400,000	54,000	▲ 346,000	
3.技術交流事業	400,000	382,330	▲ 17,670	講演会、YPF勉強会等の開催
4.YPF支援活動経費	600,000	0	▲ 600,000	ICID本部のYPFを支援する活動経費
5.委託事業費	2,200,000	2,200,000	0	事務局業務を(一財)日本水土総合研究所へ委託
6.会報製本費	350,000	31,042	▲ 318,958	会報を印刷・製本・発送
7.予備費	200,000	0	▲ 200,000	他国ICID関係者来日対応等のICID活動支援
8.管理費	50,000	28,378	▲ 21,622	郵便振替手数料、銀行振込手数料、郵送代等
支出合計②	4,450,000	3,002,288	▲ 1,447,712	

1.3 当期収支差額及び繰越金

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引増減額	備考
収入差額(①-②)	▲ 580,000	847,723	1,427,723	
前期からの繰越金	10,022,554	10,022,554	0	
次期への繰越金	9,442,554	10,870,277	1,427,723	

2. 財産目録(2025年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	金 額	
現金、預金		
現金	56,532	2025/3/31
郵便振替、東京地方貯金局	6,410,169	2025/4/1
普通預金、三菱UFJ銀行東京公務部(0015575)	9,819	2025/3/31
普通預金、三菱UFJ銀行東京公務部(0023926)	2,424,799	2025/3/31
定期預金、三菱UFJ銀行東京公務部(2302625)	2,000,000	2025/3/31
資産合計	10,901,319	

(単位:円)

負債の部	金 額	
流動負債	31,042	
未払金	31,042	会報の印刷・製本費
前受金	0	
固定負債	0	
負債合計	31,042	
正味財産	10,870,277	

監 査 報 告

令和6年度（令和6年4月1日 至 令和7年3月31日）収支決算につき、
関係帳簿及び証拠書類と対照監査した処、正確であることを認めた。

令和 7 年 5 月 8 日

日本 ICID 協会

監事

塩屋 俊一 

監事

山田 耕士 

第 2 号議案

令和 7 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

令和7年度事業計画（案）

日本 ICID 協会は、ICID 日本国内委員会の活動支援を中心に、次の事業を実施する。

1. 理事会及び総会

1. 1. 理事会及び総会の運営

令和7年度日本ICID協会理事会及び総会を令和7年7月に開催する。

2. 会議参加費助成

ICID 第 76 回国際執行理事及び第 4 回世界かんがいフォーラムが、令和 7 年 9 月 7 日（日）から 13 日（土）の間、マレーシア・クアラルンプールにおいて開催される予定である。同会議に参加する会員に対して渡航費等の 2 分の 1 の支弁を行う。

上記以外の国際会議についても、必要に応じて参加する会員の支援を行い、技術情報及び資料の収集等を行う。

なお、(一財)日本水土総合研究所が行う公益事業と連携し、IEC 等に YPF 会員が参加してプレゼンテーションを行う場合には、渡航費等の全額（ただし滞在費については実費の 2 分の 1）の支弁を行う。

3. 技術交流事業

ICID 日本国内委員会の活動支援等を行う。主な活動は以下のとおり。

3. 1. 講演会

理事会・総会の開催等に合わせて講演会を開催する。

3. 2. 若手かんがい排水技術者フォーラム作業部会（WG-YPF）

WG-YPF の定例会、現地見学会、勉強会等の開催など、WG-YPF の運営及び活動に対する支援を行い、若手技術者や研究者の活発な意見交換に努め、活性化を図る。

3. 3. 日本 ICID 協会会員の活動支援

WG-YPF 以外の活動も支援し、日本 ICID 協会の活動の活性化に努める。

4. YPF 活動経費支援

若手技術者の確保や技術の継承が課題となっている状況を踏まえ、YPF 活動を支援することを目的として、ICID 本部が行う YPF 活動に対して約 5,000US ドルを支出する。

5. 委託事業

5. 1. 日本 ICID 協会の運営

(一財)日本水土総合研究所に日本 ICID 協会の事務局業務を委託し、上記活動の運営を行う。

5. 2. 日本 ICID 協会会報の発行

ICID の諸活動に関する情報を会員に提供するとともに、会員からの情報、意見などを紹介する交流の場として会報を発行する。会報は、ホームページに掲載するとともに、必要に応じて印刷・製本し会員へ配布する。

5.3. ホームページの更新

ICID 関連会議及び論文募集等の情報をはじめ、ICID 活動に関する国内外の情報等を紹介する。

5.4. メールマガジンの配信

日本 ICID 協会に係る情報を 5 回程度メールマガジンとして発行する。

6. 予備費

他国から ICID 関係者の来日がある場合、技術交流及び情報交換を図る。

令和7年度収支予算(案)

一般会計収支予算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

A. 収入の部

(単位:円)

科 目	R6年度		R7年度	摘 要
	予算額	決算額	予算額	
1 会費収入	3,869,000	3,848,000	3,860,000	法人会員 20社 個人会員 170名
2 雑収入	1,000	2,011	1,000	利息等
収入の部 合計①	3,870,000	3,850,011	3,861,000	

B. 支出の部

(単位:円)

科 目	R6年度		R7年度	摘 要
	予算額	決算額	予算額	
1 理事会及び総会	250,000	306,538	300,000	理事会及び総会の開催
2 会議参加費助成	400,000	54,000	400,000	若手研究者派遣プログラム含む
3 技術交流事業	400,000	382,330	400,000	講演会、YPF勉強会等の開催
4 YPF支援活動経費	600,000	0	600,000	ICID本部のYPFを支援する活動経費
5 委託事業費	2,200,000	2,200,000	2,200,000	事務局業務を(一財)日本水土総合研究所へ委託
6 会報製本費	350,000	31,042	30,000	会報の印刷・製本・発送
7 予備費	200,000	0	200,000	他国ICID関係者来日対応等のICID活動支援
8 管理費	50,000	28,378	50,000	郵便振替手数料、銀行振込手数料、郵送代等
支出の部 合計②	4,450,000	3,002,288	4,180,000	

C. 当期収支差額及び繰越金

(単位:円)

科 目	R6年度		R7年度	摘 要
	予算額	決算額	予算額	
収支差額(①-②)	▲ 580,000	847,723	▲ 319,000	
前期からの繰越金	10,022,554	10,022,554	10,870,277	
次期への繰越金	9,442,554	10,870,277	10,551,277	

第 3 号 議 案

令和 7 年度役員の改選（案）について

令和 7 年度 日本 ICID 協会 役員名簿 (案)

令和 7 年 7 月

区分	所 属	役 職	氏 名		特記事項
			旧	新	
会長 兼理事	全国農村振興技術連盟	委員長	奥田 透	奥田 透	改選
副会長 兼理事	公益社団法人 農業農村工学会	専務理事	小泉 ^{たけし} 健	小泉 ^{たけし} 健	改選
理事	農林水産省 農村振興局 整備部設計課 海外土地改良技術室	室長	鷺野 健二	高野 伸	新任
理事	ICID 日本国内委員会	委員長	渡邊 紹裕	渡邊 紹裕	改選
理事	一般財団法人 日本水土総合研究所	(総括 技術監)	石川 善成	北林 英一郎	新任
理事	一般社団法人 海外農業開発コンサルタント協会	企画部長	熊谷 徹	熊谷 徹	改選
理事	西松建設 株式会社	顧問	松本 雅夫	松本 雅夫	改選
理事	NTC インターナショナル株式会社	代表取締役 社長	森 卓	森 卓	改選
理事	日本 ICID 協会 WG-YPF (新潟大学)	代表	宮津 進	宮津 進	改選
監事	一般社団法人 土地改良建設協会	専務理事	塩屋 俊一	塩屋 俊一	改選
監事	一般社団法人 農業土木事業協会	事務局長 専務理事	山田 耕士	日置 秀彦	新任
理事・監事 合計			11 名	11 名	

理事・監事の任期は令和 7 年度から令和 9 年度とする。